

受験番号

令和4年度 灘中学校 入学試験問題

算数 (第2日 3枚のうちの1枚目)

【解答上の注意】

- ・  $\boxed{1}$ (1), (2),  $\boxed{2}$ (1),  $\boxed{3}$ (1),  $\boxed{5}$ (2)は答えのみ記入しなさい。それ以外の問題は答え以外に文章や式、図なども書きなさい。
- ・ 問題にかいてある図は必ずしも正しくはありません。
- ・ 角すいの体積は、(底面積)×(高さ)× $\frac{1}{3}$  で求められます。

$\boxed{1}$

1より大きい整数  $x$  について、 $x$  の約数のうち、小さい方から2番目の数と、大きい方から2番目の数の和を  $【x】$  で表します。例えば

$$【6】 = 2 + 3 = 5, 【9】 = 3 + 3 = 6, 【13】 = 13 + 1 = 14$$

です。

(1)  $【x】$  が  $x$  より大きいような、1より大きい整数  $x$  を小さいものから順に4個並べると、

<input type="text"/>	,	<input type="text"/>	,	<input type="text"/>	,	<input type="text"/>	です。
----------------------	---	----------------------	---	----------------------	---	----------------------	-----

(2)  $【x】$  が12に等しいような、1より大きい整数  $x$  は全部で4個あります。それらを小さい

ものから順に並べると、, , ,  です。

(3) 50個の数  $【51】$ ,  $【52】$ ,  $【53】$ , …… ,  $【99】$ ,  $【100】$  の中で、最も小さい数と、2番目に小さい数を求めなさい。ただし、答えは  $【 \quad 】$  を使わずに書きなさい。例えば  $【51】$  が答えの場合は20と書きなさい。

答 最も小さい数 , 2番目に小さい数

$\boxed{2}$

箱Aには  $\boxed{0}$ ,  $\boxed{1}$ ,  $\boxed{2}$  の3枚のカードが入っています。箱Bには  $\boxed{0}$ ,  $\boxed{1}$ ,  $\boxed{2}$ ,  $\boxed{3}$ ,  $\boxed{4}$  の5枚のカードが入っています。2つの箱から一方を選び、次の【操作】を行います。

【操作】 選んだ箱の中からカードを1枚取り出し、カードに書かれた数字を確認してカードを箱の中に戻します。これを4回繰り返し、取り出した4つの数字を確認した順にア, イ, ウ, エとします。そして、9桁の整数  $8ア8イ8ウ8エ8$  を作ります。

(1) 箱Bを選んで【操作】を行います。そこで作られる9桁の整数  $8ア8イ8ウ8エ8$  が8の倍数になるカードの取り出し方は全部で  通りあります。

(2) 箱Aを選んで【操作】を行います。そこで作られる9桁の整数  $8ア8イ8ウ8エ8$  が3の倍数になるカードの取り出し方は全部で何通りありますか。

答  通り

(3) 箱Bを選んで【操作】を行います。そこで作られる9桁の整数  $8ア8イ8ウ8エ8$  が24の倍数になるカードの取り出し方は全部で何通りありますか。

答  通り

受験番号

令和4年度 灘中学校 入学試験問題

算数 (第2日 3枚のうちの2枚目)

3

短針と長針のついた時計があります。図のように、最初は短針と長針が12時の位置でぴったり重なっています。短針は1時間につき $30^\circ$ の一定の速さで右回りに動きます。長針は次のルールに従って動きます。



(ア) 長針は1時間につき $360^\circ$ の一定の速さで動きます。

(イ) 長針は、最初は右回りに動きます。

(ウ) 長針が右回りに動いている間に短針とぴったり重なると、長針は回り方を変えて左回りに動きます。長針が左回りに動いている間に短針とぴったり重なると、長針は回り方を変えて右回りに動きます。ただし、回り方を変えるのに必要な時間は無いものとします。

(1) 短針が動き始めたのち、初めて短針と長針がぴったり重なるのは、短針が動き始めてから

時間後です。その次に短針と長針がぴったり重なるのは、短針が動き始めてから

時間後です。

(2) 短針が動き始めたのち、初めて図の12時の位置で短針と長針がぴったり重なるのは、短針が動き始めてから何時間後ですか。

答  時間後

4

光が鏡で反射するときには、図1のように角⑦と角⑧の大きさが等しくなります。

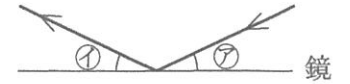


図1

図2で、1辺の長さが10cmの正方形XCDYの辺YXの真ん中の点がA、辺XCの真ん中の点がB、辺DYの真ん中の点がEです。五角形ABCDEの辺に沿って内向きに鏡が置かれています。頂点Aから出た光は、鏡で反射しながら五角形ABCDEの内側を進み、A、B、C、D、Eのいずれかに到達するとそれ以上は進みません。

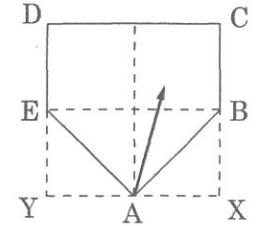


図2

(1) 図3のように、Aから出た光が辺CD上の点Pで反射したのち、辺EA上の点Qで反射し、Bに到達したとき、CPの長さを求めなさい。

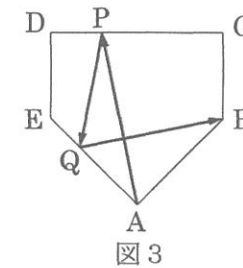


図3

答  cm

(2) Aから出た光が辺CD上の点で反射したのち、さらに鏡で2回反射してCに到達する進み方は2通りあります。これら2通りの場合について、光が最初に反射した辺CD上の点をRとすると、CRの長さを求めなさい。

答  cm と  cm

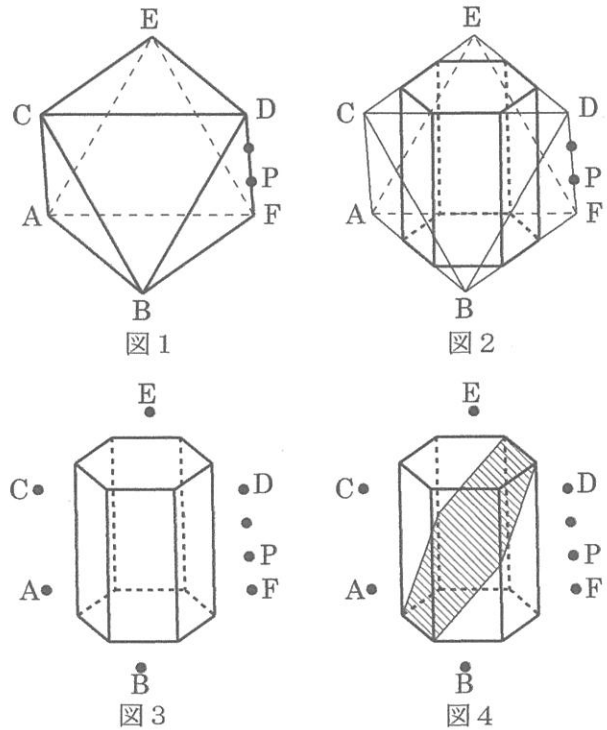
受験番号

5

8個の合同な正三角形でできた、図1のような立体Xがあります。点Pは辺DFを3等分する2つの点のうちFに近い方の点です。立体Xの辺を3等分する点のうちいくつかを図2のように結び、立体Xの中に図3のような立体Yを作ります。

A, B, Dを通る平面で立体Yを切ったとき、その断面は図4のようになり、分けられた2つの立体の体積は等しくなります。

(1) A, B, Pを通る平面で立体Yを切ったとき、分けられた2つの立体のうち大きい方の体積は小さい方の体積の何倍ですか。



(2) 図5は、立体Yの12個の頂点に1, 2, ..., 12の番号をつけたものです。図6は立体Yの展開図です。

A, E, Pを通る平面で立体Yを切ったときの断面の周を、図6にかき入れなさい。

